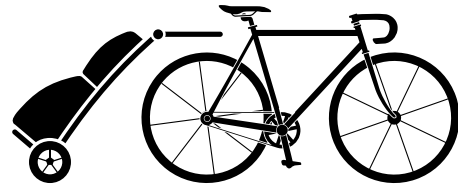


BURLEY®

バーレー カーゴトレーラー
取扱説明書・事故防止説明書



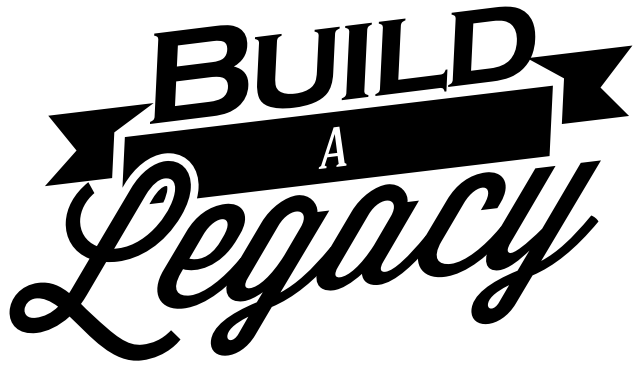
対応機種
トラボーイ V2



本書は大切に保管をして下さい。



オンラインで動画マニュアルをご覧いただけます（英語）
burley.com/support/video-guides



ALWAYS ORIGINAL. ALWAYS PRESENT. ALWAYS BURLEY.

Since 1978

伝統を作る

私達にとって伝統とはライダー、冒険家や探検家を作り出す事です。なぜなら旅の始まりに導くことが私達の仕事だからです。

道を行きながら、地図を見ることを覚え、それぞれの曲がり角に物語があることに気づかされます。丘は筋肉より人を作り出すことを学びます。深く掘り進むうちにもっと高く登れることを知ります。旅や旅で学んだことが、私達を作り出していることに気づきます。今までの経験や情熱が伝統へと変わることを知っているから、旅人を導き続けます。より良い生活の為に前進し続け、過去から学び、誇らしく未来を守ります。冒険に出かけてトレイルを走破すれば世界はひろがって行きます。外では壁や限界に邪魔されることなく、想像した以上に遠くまで行けることを知ります。日々、代々、旅は決して終わりません。物語が広がり続ける限り、記憶はずっと残ります。

1 目次

- 1 目次
- 2 安全上の注意・警告
- 3 搭載可能な最大サイズ・重量
- 4 内容物を確認する
- 5 各部の名称
- 6 取付金具
- 7 トラボイーを広げる
- 8 延長式けん引アームを使う
- 9 取付金具を自転車に取り付ける
- 10 シートポストサイズに合わせて調整する
- 11 取付金具を自転車から取り外す
- 12 荷物を積む
- 13 トラボイーを取り付ける
- 14 トラボイーを折り畳む
- 15 乗車前点検リスト
- 16 お手入れをする
- 17 保証規定
- 18 走行の注意

重要

バーレー自転車用トレーラーをご使用になる前に、必ずこの説明書をお読み下さい。ご質問・詳細な情報は最寄りのバーレー販売店にご連絡下さい。バーレーWEBページでもサポート情報をご覧いただけます。

www.riteway-jp.com/burley/

2 安全上の注意・警告

本取扱説明書に従わない場合、深刻な怪我または死亡事故につながる恐れがあります。

制限速度

なめらかでまっすぐの道 24km/h

でこぼこ道、カーブ 8km/h

安全な最高速度は、トレーラーの負荷、道路状況、交通量、けん引自転車の状態、ライダーの経験に依存します。

ライダーが安全な速度を維持できるようにするのはライダーの責任です。

- けん引バーはドロップパーポストまたはカーボンシートポストでの使用を想定していません。
- けん引した状態のまま高速で起伏の多い地形を走行すると、トレーラーに損傷を与える可能性があります。
- 一部のフルサスペンション自転車は、十分なフレーム剛性がないため、フル装備されたトレーラーをけん引するのが困難な場合があります。これにより、自転車の動きが遅くなり、制御が困難になります。
- トレーラーをけん引した自転車の操縦に慣れるまでは安全な場所で練習する。
- けん引中は自転車の反応が鈍くなりますため、急ブレーキ・急カーブをしない。
- このトレーラーは、荷物の運搬のみに使用する。お子様や動物を運ぶためにこのトレーラーを使用しない。
- 使用前に荷物がしっかりと固定され、均等に分配されていることを確認する。荷物の固定が十分でない場合、トレーラーの安定性を損ねる可能性がある。
- 16歳以上のものがけん引をする。
- 最大積載量を超えた荷物の積み込みの利用はしない。
- トレーラーを改造しない。
- タイヤを膨らませすぎない。タイヤ側面に記載された空気圧を守る。

- トレーラーの上に立ったり座ったりしない。
- 自転車がトレーラーのけん引に適しているかどうかを判断するには、自転車メーカーの指示を参照して下さい。
- 自転車整備士による自転車けん引の安全確認を行った後の利用を推奨します。
- ご使用前に、トレーラーや荷物がブレーキ・ペダル・ハンドル等に干渉しない事を確認する。
- バックミラーを自転車に取り付ける事を推奨します。
- 公道で利用する場合、法律に従う。
- ライトを点灯しない状態で夜間の自転車走行をしない。
- ライトの点灯については準拠する法律を守って下さい。
- トレーラーの赤い反射部品が見える状態である事を確認する。
- 荷物の確認や、タイヤのパンクなどのトラブルのために停車する場合は自転車を完全に道路の端に寄せる。
- 道路の状態や交通状況がけん引に適しているかを確認してから利用する。
- 天候・気温が適切かを確認してから利用する。製品が利用できるのは-7度から38度の間です。
- 道路の状態や交通状況がけん引に適しているかを確認してから利用する。

けん引バーの荷重について

安全に走行するためには、トレーラーと自転車に適切な重量配分が必要です。けん引バーの先端の垂直負荷が1kgから3.6kgの間になるように調整して下さい。負荷を計測するには、トレーラーに走行時と同じ荷物を載せ、けん引バーの先に立ち、何も持たない状態で体重を記録して下さい。次にけん引バーの先を持ち、自転車に取り付ける位置と同じ高さに引き上げた状態で体重を測って下さい。重量の差が垂直負荷の値になります。荷物が正しく積載されている場合には適正範囲内に収まるように設計されています。適正範囲内に収まらない場合は、荷物の置き場所を調整して下さい。

3 搭載可能な最大サイズ・重量

最大積載量：27kg

フレーム上部：9kg

フレーム下部：18kg



5 各部の名称

- 1.フレックスコネクタ
- 2.延長けん引アーム
- 3.ライトマウント
- 4.フレーム上部関節
- 5.フレーム上部
- 6.フレーム中央関節
- 7.ツイストハンドル
- 8.ストラップフック
- 9.フレーム下部
- 10.荷棚
- 11.キックスタンド
- 12.下部荷棚リリースケーブル
- 13.プッシュボタンホイール
- 14.ホイールガード



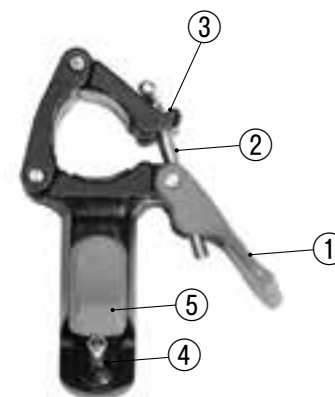
4 内容物を確認する

1. トラボーイ本体：1
2. タイヤ付きホイール：2
3. トートバッグ：1
4. ストラップ：2
5. けん引バー：1



6 取付金具

- 1.ハンドル
- 2.T型ボルト
- 3.はめ込み溝
- 4.取り付け金具ピン
- 5.掛け金

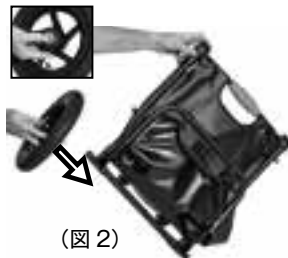


7 トラボーイを広げる

1. 折りたたまれたトラボーイからホイールを取り出して下さい。
(図1)
2. ホイールの中央のボタンを押しながら、ホイール車軸を車軸の差し込み口に差し込んでボタンを離して下さい。ホイールを強く引っ張って車軸が固定されている事を確認して下さい。
(図2)。
3. キックスタンドを外側に回転させて下さい。(図3)
4. 荷棚を広げて下に押し、所定の位置にロックされるようにして下さい。(図4)
5. ツイストハンドルを回してフレーム中央関節を解除し、フレーム上部を開いて下さい。(図5)
6. ツイストハンドルを回して、フレーム上部関節を解除して下さい。次に、けん引バーを開いて下さい。(図6)



(図1)



(図2)



(図3)



(図4)



(図5)



(図6)

8 延長式けん引アームを使う

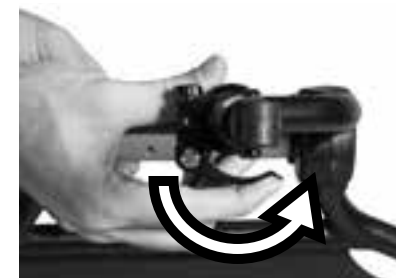
1. クイックレバーを開いて下さい。(図7)
 2. キャリア等が干渉しない間隔を保つため、延長けん引アームを希望の位置まで伸縮して下さい。(図8)
 3. クイックレバーを固定して下さい。(図9)
- 注：フレーム中央関節を折り畳むときは、延長けん引アームを縮めた状態で行います。レバーの固さを適切に調整すると、手のひらにはっきりした跡が残ります。



(図7)



(図8)



(図9)

9 取付金具を自転車に取り付ける

- 1.取付金具のハンドルを取付金具側から離すように掛け金を外し（図10）、Tボルトをはめ込み溝から外して下さい。
 - 2.取付金具本体をシートポストに当ててから、取付金具の残りをシートポストに巻き付けて下さい。（図11）
 - 3.Tボルトをはめ込み溝に配置して下さい。（図12）
 - 4.レバーを取付金具に向かって折り込んで下さい。（図13）
 - 5.必要に応じて張力を調整して、確実にフィットするようにして下さい。
- 注：レバーの固さを適切に調整すると、レバーを閉じた時、手のひらに跡が残ります。クイック取付金具の使用について質問がある場合はバーリーディーラーにご相談ください。



(図10)



(図11)



(図12)

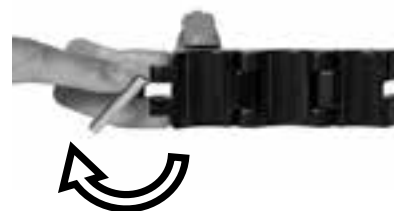


(図13)

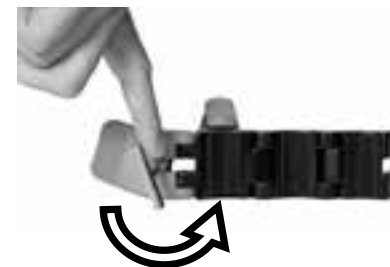
10 シートポストサイズに合わせて調整する

Tボルトを回転させて、さまざまなシートポストの直径に合うように取付金具を調整して下さい。

- a.直径の細いシートポストに合わせる場合、時計回りに回転させて下さい。（図14）
- b.直径の太いシートポストに合わせる場合、反時計回りに回転させて下さい。（図15）



(図14)



(図15)

11 取付金具を自転車から取り外す

- 1.取付金具のハンドルを取付金具側から離すように回転させて掛け金を外し、Tボルトをはめ込み溝から外して下さい。
- 2.シートポストから取り外して下さい。

注記：

- 1.取付金具は直径25-35mmのシートポストに使用できます。
- 2.カーボンシートポストまたはドロPPERポストでの使用はおすすめいたしません。
- 3.取付金具は円形のシートポストのみ使用できます。
- 4.金具を取り付けるためには、シートポストに40mm以上の出しろが必要になります。
- 5.足が金具に当たる場合には、金具を下げて対応して下さい。

12 荷物を積む

トラボイには様々な方法で荷物が載せられます。
フレームにストラップフックが8つ付いています。トラボイに付属する
トートバッグ・ストラップやオプションのバッグはこのストラップフック
に取り付けられます。(図16)

荷物を載せるには次のガイドラインに従って下さい。

1. 合計の積載量が27kg以下
2. フレーム中央関節より上の積載量は9kg以下
3. フレーム中央関節より下の積載量は18kg以下
4. 取り付け金具部分の荷重は1kg以上3.6kg以下
5. ホイールに干渉しない。固定が緩まない
6. 安定性を高めるために、荷物になるべくトレーラーの中央に来るようにする



(図16)

13 トラボイを取り付ける

1. フレックスコネクタを取付金具のピンにスライドさせて、トレーラーを取付金具に取り付けて下さい。(図17) フレックスコネクタが完全に装着されると、掛け金は自動的に閉じます。
2. トレーラーを取り外すには、掛け金をシートポストに向かって押し、フレックスコネクタを取付金具のピンから持ち上げて下さい。(図18) 自転車を直立させ、カップリングがピンを簡単にスライドできるようにします。



(図17)



(図18)

14 トラボイーを折り畳む

- 1.すべての荷物と付属品をトレーラーと自転車から取り外して下さい。
 - 2.延長式けん引アームを完全に引き込んで下さい。
 - 3.ツイストハンドルを回して、フレーム上部関節を解除して下さい。次に、けん引バーを開いて下さい。(図19)
 - 4.ツイストハンドルを回転させてフレーム中央関節を解除し、フレーム上部を開いて下さい。(図20)
 - 5.荷棚裏側のリリースケーブルをフレーム側に握って下さい。
(リリースを引っ張りながら、荷棚の上で引き上げます。ケーブルにより、リリースメカニズムが完全に解放されないことがあります)。次に、荷棚をフレームに向かって引き出して下さい。(図21)
- 注：引き上げる前に荷棚を静かに押し下げると、セルフロックメカニズムを完全に解除できる場合があります。
- 6.キックスタンドの底部を下段の荷棚に向かって回転させて、キックスタンドを折りたたんで下さい。(図22)
 - 7.車輪の車軸側が互いに向き合うように、折り畳まれたシェルフの中に車輪を保管して下さい。(図23)



(図 19)



(図 20)



(図 21)



(図 22)



(図 23)

15 使用する前に確認してください

- 1.ホイールがトレーラーにしっかりと取り付けられている。
- 2.タイヤの空気がタイヤ側面に記載されている範囲で入っている。
- 3.取り付け金具が自転車にしっかりと固定されている。
- 4.フレックスコネクタが取り付け金具にしっかりと固定されている。
- 5.取り付け金具の掛け金がかかっている。
- 6.最大積載重量（3に記載）が27kgを下回る。
- 7.荷物はトレーラーにしっかりと固定され、中央に配置されている。すべてのストラップやバンドは固定されており、可動部品に接触していない。
- 8.けん引バーの垂直荷重が1kg以上3.6kg以下である。
- 9.自転車が正しい状態で動作する。特にタイヤとブレーキには注意をする。自転車の取扱説明書をしっかりと読む。延長けん引アームのクイックレバーは適切な力で閉められている。

1か月に一度の割合で以下の項目を確認して下さい

- けん引バー、取り付け金具、フレーム、フレックスコネクター及び本体の損傷。フレックスコネクターは3～5年ごとに整備・交換が必要です。
- ファスナーが固定されていることを確認して下さい。
- タイヤの摩耗・ひび割れを確認して下さい。
- 繊維の破れ、はがれ、脱落を確認して下さい。
- 異常が見つかった場合は、販売店にお問い合わせ下さい。

16 お手入れをする

砂や塩水などが付着した場合は、部品の早期摩耗を防ぐため清掃して下さい。

保管方法

- 製品を長くお使いいただくために、トレーラーは室内保管をお勧めします。
- 23度を下回る、あるいは65度を上回る環境での保管は避けて下さい。

布のお手入れ

- 繊維部分を弱酸性の洗剤を含めたお湯・または水で手洗いをして下さい。
- 漂白剤・溶剤は使用しないで下さい。
- カバーは日陰で乾かして下さい。
- よく乾拭きをしてから直射日光の当たらない、風通しの良い場所で保管をして下さい。

17 保証規定

ライトウェイプロダクツ ジャパン株式会社(以下当社)が取り扱うバーレー自転車用トレーラーおよびその付属品は、購入日から1年間において材料及び構造上の欠陥に対して保証します。保証を受けていただくには販売店の発行するレシートまたは領収書が必要です。

この保証は日本国内での購入・利用に関してのみ有効です。

保証期間中に材料または構造上の欠陥が発見された場合、修理または交換をいたします。

保証は日本国内での利用においてのみ有効です。

保証は本製品の最初の購入者のみに有効です。譲渡された場合には保証は継続されません。

保証はご購入者ご本人の個人的利用においてのみ有効です。レンタルおよび業務利用時について保証は適用されません。バーレーおよび当社は商業的損害に関して一切の責任を負いません。

保証は製品を適切にご利用頂いた場合にのみ有効です。不適切な利用、改造、事故、および通常利用時の消耗に関して保証は適用されません。

本製品の明示または黙示保証の範囲は、唯一の選択肢としてここで指定された修理または交換に限定されます。いかなる場合においても、特別損害・偶発的損害・派生的損害に対する責任は明示的に排除されます。

18 走行の注意

1. 歩道の走行はできません

自転車用ベビーカー、サイクルトレーラーけん引をした場合、法令が定める「普通自転車」ではなく、軽車両となりますので、歩道は走れません。車道の左側を走行しましょう。

一方通行で「自転車を除く」の標識がある場合や、歩道に「自転車通行可」の標識がある場合でも、「普通自転車」ではありませんので、通行できません。

また、各地の地方公安委員会の規則・施設の管理者の指示にしたがって安全にお乗り下さい。

2. 右折は二段階右折を行いましょ

原則的に、車道の左側しか走行してはいけませんので、右折の場合には「二段階右折」が必要です。

・信号のある交差点の場合

1. 信号にしたがって反対側まで直進
2. 向きを変え
3. 進行方向の信号青で進行。

・信号のない交差点の場合

1. 左側を進行
2. 直角に右に曲がる

中央寄りから右折はできません

3. 信号は自動車用に従いましょ

車道を走りますので、信号は自動車用信号に従いましょ。自動車と違い、黄色になってから交差点に進入すると渡りきれない場合がありますので注意して下さい。

4. フラッグを必ず立てましょ

必ず付属のフラッグを立てて走行をして下さい。自動車が近づいた場合、ドライバーからベビーカー・トレーラーが全く見えなくなりますので、フラッグを立ててベビーカー・トレーラーの存在をアピールするようにして下さい。

5. 転落に注意しましょ

お子様が自分でシートベルトを外し、ドアを開けてしまうと転落のおそれがあります。おひとりでもしっかりと座れるようになってからのご利用をお願いします。

6. 交差点では大回り&徐行をしましょ

普通自転車の感覚で交差点を曲がると内側にベビーカー・トレーラーを引っ掛けてしまう場合があります。少し大回りを意識するとスムーズな走行が可能です。

また、交差点でスピードを出しすぎるとトレーラーが外側に振られてしまう場合があります。歩く程度の速度まで減速し、ゆっくりと交差点を曲がるようにしましょ。

7. シートベルト・ヘルメットを着用しましょ

公道を走行する場合には、ヘルメットを着用し、シートベルトを正しく装着してご利用下さい。

8. 安全な場所で練習をしましょ

運転に慣れるまで、安全な広い場所で練習をしましょ。乗り降りや、取り付け、取り外しも同じように練習をしていただき、余裕を持った運転をお願いします。

BURLEY®

burley.com

バーレーとつながりましょう

いつでも自転車に乗っている方、天気の良い日にだけ自転車に乗る方、
いろいろな方とバーレーは情熱を共有したいと考えています

日本国内代理店

地球を楽しくしたい

RITWAY®
PRODUCTS JAPAN

ライトウェイプロダクツジャパン株式会社
〒171-0022 東京都豊島区南池袋3-18-34 池袋シティハイツ102
TEL.03-5950-6002 FAX.03-5956-8028

riteway-jp.com